土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　福山沼隈線道路改良事業に伴う業務委託（２工区）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	R1Bon-2	調査位置	広島県福山市草戸町四丁目地内　(NO.9+84.2,L8.5m)	北　緯	34° 28' 17.3005"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和元年 8月19日～ 令和元年 8月23日	東　経	133° 21' 14.5595"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 4.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南 0°
総削孔長	20.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1-B48 / エンジン：ヤンマー　NFD12 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	2.61	1.90		シルト混じり砂	(S)	褐	rd1		細粒分を少量含む，細砂・中砂主体の砂。 深度0.5mまでに炭とコンクリート片が混入し，基底の深度1.9m付近に直径10cmを超える花崗岩の風化礫が見られる。	(B) 8/19 1.80
2	2.01	2.50		シルト質砂	SCｓG	褐	rd1		細粒分を多く含む，細砂～粗砂を均等に含む砂。直径1cm程度の角礫が混じる。試料は水で飽和。	(ASF1)
	1.71	2.80		砂	(S)	褐			細粒分の少ない細砂・中砂主体の砂。	
3	0.71	3.80		シルト混じり砂	SCｓ－G	暗褐	rd2		細粒分を少量含む，細砂・中砂主体の砂。 深度3.6m以深は細粒分が多いシルト質砂。	
4				シルト	CHS	暗灰		rc1	均質なシルト。含水比は高く軟らかい。 一部に中砂からなるサンドパイプが見られる。貝殻片の混入は見られず，木片が混じる。 深度5.0m以深は砂分の多い砂質シルトないしシルト質砂で，下位の砂層との境界は漸移的。	(AC2)
5	-1.19	5.70			SCｓ－G					
6	-2.49	7.00		砂	S-Cs	灰	rd3		細粒分の少ない中砂・粗砂主体の砂。 深度6.0mまでは細粒分が混じるシルト混じり砂。	(AS2)
7										
8				砂質シルト	CLS	暗灰		rc1	砂分を多く含むシルト。 含水比は高く，試料は指で容易に変形できる。 砂分は細砂・中砂からなり，粗砂をわずかに含む。砂分は層内で増減し，深度11m以深ではシルトと砂質シルトが互層をなす。 全体的に貝殻片が混入する。深度11.5m付近には木片が見られる。 孔内水平載荷試験は別孔で実施した。	(AC2)
9										
10										
11										
12	-8.29	12.80								
13	-9.19	13.70		砂	S-CsG	淡灰褐	rd4		細粒分の少ない中砂・粗砂主体の砂。 直径1cm程度の亜角礫が点在する。	(ASF4)
14				シルト混じり砂	SG-Cｓ	淡黄褐	rd3		淡褐色の細粒分を含む，細砂～粗砂を均等に含む砂。 直径1cm程度の亜角礫が点在する。	
15	-10.59	15.10								
16				風化花崗岩	Rm	帯褐淡灰			花崗岩の風化帯。（DH級～CL級岩盤，軟岩I） 全体的に岩石組織が明瞭。風化は不均質で，ダブルコアチューブで砂状（マサ土状）ないし軟質な礫状コアとして採取される。 深度15.9m付近の黒色礫は花崗岩中の暗色包有物である。 深度17.6m以深は軟質な柱状コア。	(Gr2)
17										
18	-13.49	18.00								
19				花崗岩	Rm	淡灰			弱く風化した花崗岩。（CM級岩盤，軟岩II） 有色鉱物の周辺に褐色酸化が見られ，ハンマーの打診で濁音を発する。長さ10～50cmの軟質な柱状コアとして採取される。 孔内水位は無水掘削により確認した水位。	
20	-15.49	20.00								
21										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1 / 140	1 / 140	1 / 120	3 / 400		
	1.55						
1	2.15	1 / 400			1 / 400		
	2.55						
6	3.15	2	2	2	6 / 300		
	3.45						
1	4.15	1 / 400			1 / 400		
	4.55						
0	5.00	ハンマー自沈			0 / 450		450
	5.45						
12	6.15	3 / 120	4 / 80	5	12 / 300		
	6.45						
1	7.15	1 / 500			1 / 500		
	7.65						
0	8.00	ハンマー自沈			0 / 500		500
	8.50						
0	9.00	ハンマー自沈			0 / 500		500
	9.50						
0	10.00	ハンマー自沈			0 / 500		500
	10.50						
0	11.00	ハンマー自沈			0 / 450		450
	11.45						
0	12.00	ハンマー自沈			0 / 450		450
	12.45						
31	13.15	10	11	10	31 / 300		
	13.45						
18	14.15	6	5	7	18 / 300		
	14.45						
50以上	15.15	50			50 / 100	100	
	15.25						
50以上	16.00	50			50 / 40	40	
	16.04	40					
50以上	17.00	17	33		50 / 160	160	
	17.16		60				
50以上	18.00	50			50 / 30	30	
	18.03	30					
50以上	19.00	貫入不能			50 / 0	0	
50以上	20.00	貫入不能			50 / 0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果	削孔月日
1.00	P2-1	⊖				
1.55						
2.00	P2-2	⊖	粒度			
2.55						
3.00	P2-3	⊖	粒度			
3.45						
4.00	P2-4	⊖	粒度 液性 塑性			
4.55						
5.00	P2-5	⊖	粒度	5.20	ヒビキ E=2320kN/m2	
5.45				5.80		8/19
6.00	P2-6	⊖	粒度			
6.45						
7.00	P2-7	⊖	粒度 液性 塑性			
7.65						
8.00	P2-8	⊖	粒度 液性 塑性	8.20	ヒビキ E=2965kN/m2	
8.50				8.80		
9.00	P2-9	⊖	粒度 液性 塑性			
9.50						
10.00	P2-10	⊖	粒度 液性 塑性			
10.50						
11.00	P2-11	⊖	粒度 液性 塑性			
11.45						
12.00	P2-12	⊖	粒度 液性 塑性			
12.45						
13.00	P2-13	⊖	粒度			
13.45						
14.00	P2-14	⊖	粒度			
14.45						
15.00	P2-15	⊖				
15.25						8/20
17.00	P2-17	⊖				
17.16						
						8/21